

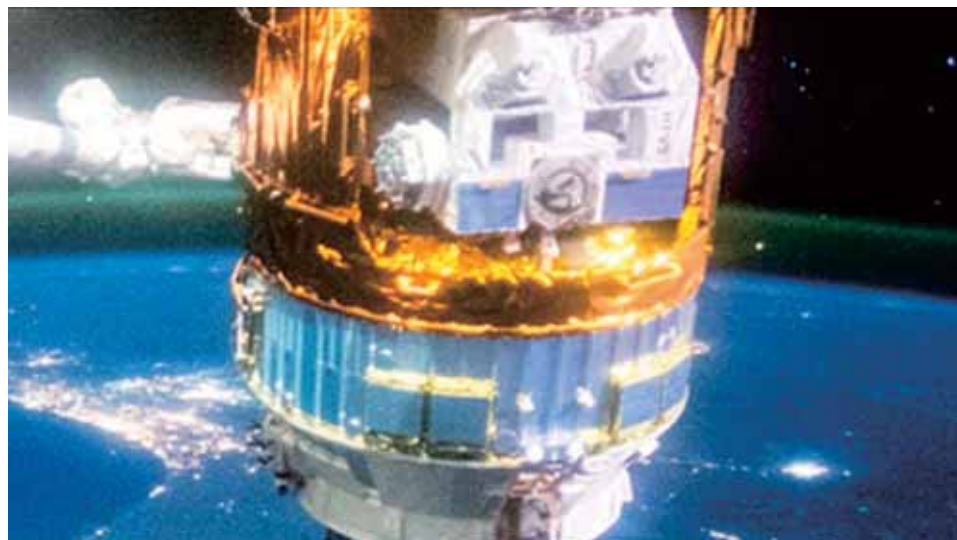
うじねーの会

沖縄宇宙通信所見学

うじねーの会はJAXA（宇宙航空研究開発機構）が恩納村で運営する沖縄宇宙通信所を見学した。

同通信所は1968年2月、旧科学技術庁宇宙開発推進本部の「沖縄電波追跡所」として発足した施設です。69年10月、旧宇宙開発事業団の発足とともに、その一施設となりました。

同通信所の主な業務は、人工衛星の追跡と管制です。打ち上げられた人工衛星から電波を受信し、位置や姿勢、搭載した電子機器が正



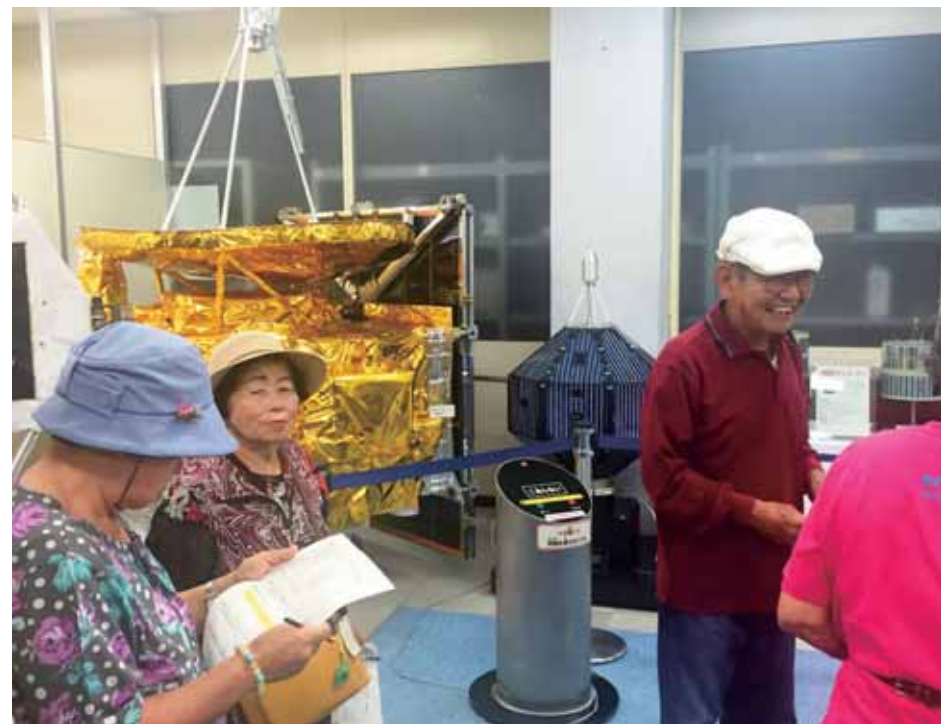
しく機能するかを知り、状況に応じ人工衛星へコマンド（指令）電波を送信するなど、人工衛星を維持管理する役割を果たします。

ホームページによると、沖縄宇宙通信所パラボラアンテナ施設内には、直径18メートルと10メートルのパラボラアンテナを持つ追跡管制局2式のほ

か、WINDビーコン局と、7.6メートルのレドーム（保護用の覆い）付きパラボラアンテナを持つ準天頂衛星追跡管制局2式も設置されています。

天に関する見学会から連想し、天国とグソーを考えながらの見学会になった。宇宙を考えると日常の出来事が小さな出来事になる。超越という言葉に連想する。昼食時間をたっぷり一時間半取ったため、帰りは疲れを感じなかった。

夏場はクーラーの効いた室内の観覧を多くしたが、来月から涼しくなると、自然と緑との触れ合いでリハビリを兼ねてウォーキングを取り入れたいものです。



敬老会

自治会は例年、長年社会の発展に尽力された皆様方をお招きし、自治会ホールで数百名が参加する盛大な宴を催す。懐石弁当と酒、ビール、ソフトドリンクが供される。

サークルの琉舞やフラダンス、沖縄尚学高校地域芸能研究会のエイサー、アジア地方の色鮮やかな衣装をまとい、屈託ない笑顔での踊



りが会場を湧かした。また、プロのマイケル

中本さんが出場し、歌謡漫談を披露した。



身長1メートル85センチの風体と不似合いな琉装の女装で色気たっぷりに歌う。特に美川憲一の物真似に笑い喝采。帰りは全員の笑顔が絶えなかった。.....



マイケル中本さん
(参考写真)

クイズ ここはどこでしょうか

